

ペンギンに気をつけろ！（1993）

WALLACE & GROMIT IN THE WRONG TROUSERS
THE WRONG TROUSERS

メディア 映画 アニメ

ジャンル アクション サスペンス ファミリー

製作国 イギリス

時間 29分

初公開日 1996/09/14

公開情報 シネカノン

【解説】

発明家で少し抜けてる英国紳士ウォレスとしっかり者の愛犬グルミットが主人公の大人気クレイ・アニメーションの第2弾にしてシリーズ屈指の完成度を誇る傑作スペクタクル・サスペンス・コメディ。

今日はグルミットの誕生日。ご主人のウォレスがかわいい相棒のために用意したプレゼントはなんとNASA製の“テクノズボン”！かなり奇天烈な贈り物だけど、なかなかどうして垂直の壁も登れるけっこうな優れもの。でもおかげで家計は火の車。仕方なくウォレスは空いている部屋を貸しに出し、ほどなく、かわいいペンギンくんが下宿することに。しかし、このペンギンくんことマグロウ、実は大変なお尋ね者で（仕事のときは“トサカ”を被ってニワトリに変装するのが爆笑）、とんでもない企みを練っている最中だった。そうとは知らないウォレスはよく気の利く下宿人にすっかりゴキゲン、一方、部屋を横取りされ、すっかり居場所をなくしたグルミットは家出を決意するのだった……。

とにかく、キャラクターの造形、ストーリー、演出、ディテールの作り込みといった様々な映画の要素が高水準で融合したまさに傑作。一見、かわいいマグロウがウォレスに取り入りグルミットを徐々に追い詰めていくあたり、とてもクレイ・アニメとは思えない高度な心理劇が展開される。そして、あまりにも有名なクライマックスの列車追跡シーンではキートン作品にも負けないスピード感と迫力を堪能させてくれる。それにしても、驚くのは目玉とおでこ（？）以外ほとんど動くパーツを持たないグルミットの顔が、なんと表情豊かなことか！ほんの僅かな動きだけであらゆる内面心理をみごと表現してしまう職人ニック・パークの何たる神業！とにかく、この職人氣質でフレーム内の全てのものに徹底したこだわりが貫かれていて、“お遊び”的な部分も含め、2回、3回観ても必ず新たな発見をしてしまうハズである。逆に言うと、本作をたった1回観たきりで終りにしてしまうのはあまりにも勿体無いとしか言いようがない。

【クレジット】

監督	ニック・パーク	Nick Park	
製作	クリストファー・モル	Christopher Moll	
脚本	ニック・パーク	Nick Park	
	ボブ・ベイカー	Bob Baker	
音楽	ジュリアン・ノット	Julian Nott	
声の出演	ピーター・サリス	Peter Sallis	ウォレス